

環境共生課

環境共生保全費	113
協働の森づくり事業費	114
オフセット・クレジット推進事業費	115
清流保全推進事業費	116
四万十川総合対策事業費	117
希少動植物保護対策事業費	118
自然公園等施設整備事業費	119
自然公園等管理費	120
牧野植物園管理運営費	121
公園施設等災害復旧事業費	122
自然保護基金管理費	123

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
環境共生保全費	6,581	6,386	5,417		(諸) 10	5,407

1 目的

自然環境保全の総合的な推進を図るために、環境審議会自然環境部会の開催、環境影響評価(アセスメント)の審議、国の環境影響評価法の一部改正を受けた県条例の改正の審議及び自然環境情報の発信等を行う。

2 内容

① 環境審議会開催経費 (159千円 (一)159千円)

- ・高知県環境審議会自然環境部会の開催

② 環境影響評価(アセスメント)技術審査会等開催経費 (473千円 (一) 473千円)

- ・環境に著しい影響を及ぼすおそれのある開発事業の実施に先立ち環境影響評価(アセスメント)の審査会を開催

- ・環境影響評価法の一部改正を受け、県条例の改正に向けて、高知県環境審議会を開催

③ 環境共生保全事務費 (4,785千円 (一)4,775千円 (諸)10千円)

- ・環境行政の円滑な推進を図るため、各種連絡会議への出席や関係機関との連絡調整等の事務費

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
協働の森づくり 事業費 (温暖化対策地域 モデル事業費)	5,491	5,013	4,314			4,314

1 目的

温室効果ガス削減に関心の高い企業を対象として、二酸化炭素吸収機能に着目した森づくりに協力してもらうため「環境先進企業との協働の森づくり事業」の企画立案と活動を行う。

また、森と密接な繋がりを持つ川・海的环境保全をテーマとし、新たな活動メニューを企画・提案することによる企業の環境・CSR活動の誘致及び企業等の持つ助成制度を県内のNPO等とマッチングさせることで、地域の活動の活発化と環境の保全を図る。

2 内容

- 事務費（協働の森フォーラムの開催を含む。）4,314千円 （一）4,314千円

3 平成22年度に実施した主な事業の実績見込み

- 協働の森づくり事業
 - ・協働の森事業パートナーズ協定締結 →新規7件・更新7件（協定企業49、協定のべ数51件）
 - ・企業と地域との交流活動実施 →32回
 - ・CO2吸収専門委員会 →2回開催
 - ・CO2吸収証書発行 →34件
 - ・協働の森フォーラム →28企業・団体参加
- CSR事業
 - ・「四国の水・森に感謝」パートナーズ協定に伴う寄付 →2件

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
オフセット・クレジット推進事業費	40,167	39,677	47,735		(入) 23,427	24,308

1 目的

豊かな森林資源を温暖化対策に活用するとともに、オフセット・クレジット等の創出を行い、雇用創出や森林整備につなげていく。

また、協働の森づくり事業の間伐整備により増大した森林吸収量を認証し、吸収証書を発行するほか、県産材を用いた木造住宅のCO2固定量を認証し、木材利用が温暖化対策につながることを広くアピールし県産材の利用を促進する。

2 内容

(1) 排出量取引 (CO2排出削減) プロジェクト事業費 (18,460千円 (－) 18,460千円)

木質バイオマスの混焼を火力発電事業者に委託し、CO2の排出削減量を検証・認証し、クレジット化する。委託先：住友大阪セメント(株)高知工場

(2) 排出量取引 (CO2吸収) プログラム認証等事業費

(20,831千円 (－) 3,300千円 (入) 17,531千円)

プログラム認証による県内森林吸収プロジェクトの県認証にかかる審査及び県オフセット・クレジット認証センターの運営全般を委託する。委託先：(社)高知県山林協会

(3) CO2木づかい運動推進事業費 (311千円 (－) 311千円)

CO2木づかい固定量認証専門委員会を開催し認証について審査を行う。

(4) ふるさと雇用再生地方検証人育成事業費 (5,896千円 (入) 5,896千円)

県内の森林資源を活用した森林管理プロジェクトや企業の排出削減プロジェクトの検証業務ができる地方検証人育成及び、CO2排出削減・吸収クレジット等の創出制度の普及等の業務を委託する。

委託先：財団法人高知県産業振興センター

(5) J-VERクレジット販売促進等事業費 (1,706千円 (－) 1,706千円)

排出削減・森林吸収J-VERの販売促進を図るため、営業強化の体制を整備するとともに、併せてJ-VER自治体会議を高知県で開催する。

(6) 高知県J-VER制度サポート事業費 (531千円 (－) 531千円)

高知県J-VER制度利用者への普及促進を図るため、説明会、研修会を開催するとともに、企業とのマッチングイベント等に参加し、発行クレジットの販売促進をサポートする。

3 平成22年度までに実施した主な事業の実績見込み

○オフセット・クレジットの発行 (平成23年3月31日現在)

木質資源エネルギー活用事業 5,920 t-CO2(うちH20は899 t-CO2、H21は1,932t-CO2、H22年は3,089 t-CO2)

森林吸収量取引プロジェクト 285 t-CO2(うちバッファ－8 t-CO2)

○売却状況 (平成23年3月31日現在)

31件 売却済み 4,384 t-CO2(うちH20は899 t-CO2、H21は1,742t-CO2、H22は1,743 t-CO2)

○高知県 J-VER 登録・認証・発行状況 (平成23年3月31日現在)

6件登録、3件認証、2件発行

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
清流保全推進事業費	1,477	1,477	1,335		(入) 650	685

1 目的

本県の恵み豊かな清流を次世代へ引き継ぐため、清流保全基本方針に基づいて策定した清流保全計画をベースに、流域住民や団体等との協働のもと、健全な水循環の保全・再生を図る。

2 内容

(1) 物部川清流保全計画の着実な推進

物部川清流保全計画を推進するために設立した物部川清流保全推進協議会を、流域住民や事業者、国や流域三市などと協議しながら運営し、具体的な取組を進めていく。

(2) 第2次仁淀川清流保全計画の着実な推進

第2次仁淀川清流保全計画を推進するために設立した仁淀川清流保全推進協議会を、流域住民や事業者、国や流域市町村などと協議しながら、具体的な取組を進めていく。

(3) 清流保全計画の指標収集と環境学習への支援

清流保全計画に基づく取組の達成状況を把握する指標を収集するとともに、流域の小学生らが川に親しみながら、環境学習の一環として水生生物の調査などに取り組むことが出来るように支援する。

【主要な節内訳】

・清流保全条例推進事業費	685千円
① 物部川清流保全推進協議会委員報償費	(189千円)
② 仁淀川清流保全推進協議会委員報償費	(216千円)
③ 事務費（旅費、使用料及び賃借料）	(280千円)
・清流保全計画指標モニタリング事業費	650千円
① 事務費（需用費）	(650千円)

3 平成22年度に実施した主な事業の実績見込み

- (1) 物部川清流保全推進協議会の運営
- (2) 仁淀川清流保全推進協議会の設立と運営

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
四万十川総合対策費	19,286	19,363	9,958		(入) 474	9,484

1 目的

四万十川の総合調整を推進するため、国や愛媛県、流域市町、関係団体及び住民団体などとの連携を図り、四万十川条例に基づいて、生態系や景観、生活文化財産の保全及び地域振興との調和を図るとともに、保全と振興の実践組織である四万十川財団の事業を支援する。

2 内容

- (1) 流域市町と連携しての生活文化財産の保全に向けての取組
(重要文化的景観を活用した、流域の振興に向けての取組)
- (2) 共生モデル地区における住民と行政との協働の取組 (四万十くろそん会議 他)
- (3) 重点地域における許可制度の運用
- (4) 四万十川流域の中核の実践組織である四万十川財団の支援

〔主要な節内訳〕

- ・四万十川流域保全振興委員会費 595千円
(委員報酬、委員旅費)
- ・重点地域等管理費 2,519千円
四万十川流域保全振興委員会運営委託料 (270千円)
契約方法：指名競争入札
委託先：コンサルタント等
事務費(報償費、旅費、需用費等) (2,249千円)
- ・清流基準モニタリング事業費(旅費、需用費) 474千円
- ・四万十川財団活動推進事業費 5,214千円
四万十川財団運営費補助金 (5,214千円)

3 平成22年度に実施した主な事業の実績見込み

- (1) 文化的景観連絡協議会、四万十川グリーンツリズム連絡会との連携による流域の振興に係る取組
- (2) 四万十くろそん会議の運営としまんと黒尊むらの取組との連携
- (3) 重点地域における許可制度の運用

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
希少動植物保護対策事業費	6,955	5,192	7,932		(入) 6,652	1,280

1 目的

県内に生息・生育する希少な野生動植物の保護を図ることにより、生物多様性の保全及び自然との共生に寄与し、健全な自然環境を将来の県民に継承する。

2 主な内容

(1) 保護対策事業費(1,280千円 (一)1,280千円)

高知県希少野生動植物保護条例に基づき、県内に生息、生育する希少野生動植物の保護に関する検討、対策等及び高知県うみがめ保護条例に基づく保護区の管理等を行う。また、生物多様性地域戦略策定に向けた、関係機関との情報交換を進め、戦略の全体像や計画づくりの方法を検討する。

(2) 希少野生植物食害対策事業費(6,652千円 (入)6,652千円)

ニホンジカの食害による希少野生植物への影響を調査し、防護ネット設置及び既設ネットの箇所のモニタリング調査等の業務を委託する。

① 調査業務委託料(2,257千円 (入)2,257千円)

- ・内容：ニホンジカの食害による希少野生植物への影響調査、ヒアリング等を行い、専門的知見による防護柵設置計画作成。

- ・委託先：(財)高知県牧野記念財団

② 防護柵設置業務委託料(2,479千円 (入)2,479千円)

- ・内容：防護柵設置計画に基づいた防護柵設置業務。

- ・委託先：各所管森林組合

③ モニタリング調査業務委託料(1,916千円 (入)1,916千円)

- ・内容：平成22年度までに設置した防護柵の効果を把握するための、モニタリング、ヒアリングの実施。

- ・委託先：未定

3 平成22年度に実施した主な事業の実績見込み

- ・野生動物の生息実態調査の実施

- シオマネキ及びトビハゼの生息実態調査

- ・希少野生植物食害対策事業の実施

- 県中部地域におけるニホンジカの食害による希少植物への影響調査及び対策の実施

- ・レッドリスト(植物編)の更新

- 更新検討会の開催……平成21年度に更新作業を行なったリストの公表に向けた、最終的な検討。

- レッドリスト(植物編)改訂版の印刷

- ・希少野生動植物保護専門員連絡会の開催

- ・県指定種に関する検討会

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等施設整備事業費	5,572	31,871	7,173			7,173

1 目的

自然公園等の施設整備を行った箇所において、長年の使用等により美観の損なわれたものや危険な箇所等を修繕する。

2 内容

- ・施設改修工事等の実施(6,485千円 (一)6,485千円)
遊歩道等改修工事等
- ・足摺岬展望台解体工事測量設計委託(347千円 (一)347千円)
- ・施設修繕料(200千円 (一)200千円)
遊具修繕等
- ・その他事務費(141千円 (一)141千円)

3 平成22年度に実施した主な事業の実績見込み

- ・室戸岬園地遊歩道等改修工事の実施
- ・月見山こどもの森遊歩道等改修工事の実施
- ・足摺岬園地手摺等改修工事の実施
- ・足摺岬園地天狗の鼻休憩所改修工事の実施

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然公園等管理費	22,961	82,613	13,661		(諸) 3,558	10,103

1 目的

自然公園法及び県立自然公園条例により指定された国定公園や県立自然公園などの保護管理を充実させるとともに、公園利用の適正化を図る。

2 内容

(1) 自然公園管理費(320千円 (一)320千円)

- ・現地調査等に要する活動旅費等

(2) 県立こどもの森管理運営費(7,428千円 (一)3,870千円 (諸)3,558千円)

①月見山こどもの森管理運営委託料(7,281千円 (一)3,723千円 (諸)3,558千円)

内容：県立月見山こどもの森施設の指定管理者による管理代行料

指定期間：H21. 4. 1～H24. 3. 31 (3年間)

指定管理者：情報交流館ネットワーク

②その他事務費(147千円 (一)147千円)

(3) 四国のみち管理費(5,571千円 (一)5,571千円)

- ・四国のみち管理委託料(5,571千円 (一)5,571千円)

内容：昭和56年度から整備した長距離自然歩道(四国のみち)の維持管理に要する委託料

委託先：18市町村、高知市森林組合、野根山街道保存協議会

路線数：36ルート(延長411.3km)

(4) 自然公園指導員活動強化事業費(342千円 (一)342千円)

- ・自然公園指導員の資質向上を図るための研修会の開催等

3 平成22年度に実施した主な事業の実績見込み

- ・県立月見山こどもの森の指定管理(指定期間：H21. 4. 1～H24. 3. 31)
- ・四国のみち管理委託の実施(36ルート、411.4km)
- ・自然公園指導員研修会の実施(3カ所)
- ・自然公園の区域図及び四国のみち等の施設台帳の作成
- ・高知市が行う旧土佐寒蘭センターの施設整備への交付金の交付

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
牧野植物園管理運営費	333,129	355,682	317,549		(使) 4 (入) 4,988	312,557

1 目的

牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、県民に対し憩いの場を提供する。

2 内容

(1) 牧野植物園管理運営(279,834千円 (一)279,830千円 (使)4千円)

・ 牧野植物園の管理を指定管理者に行わせる。

① 牧野植物園管理運営委託料(管理代行料)(278,750千円 (一)278,746千円 (使)4千円)

指定期間：平成23年4月1日～平成28年3月31日(5年間)

指定管理者：(財)高知県牧野記念財団

② その他事務費(1,084千円 (一)1,084千円)

(2) 牧野植物園第二期整備事業(32,727千円 (一)32,727千円)

・ 植物産業の振興を図るために、薬用植物等の研究、栽培、利用技術の開発を行う研究型植物園に向けた施設の整備及び研究活動に対し助成する。

○ 薬用植物等活用促進費補助金

補助先：(財)高知県牧野記念財団

補助率：定額

(3) イベント開催委託料(4,988千円 (入)4,988千円)

・ 志国高知龍馬ふるさと博に対応する催しを、牧野植物園で開催する。

○ 重点分野雇用創造事業実施体制強化委託料(4,988千円 (入)4,988千円)

委託内容：イベント開催委託事業の実施体制の強化

委託先：(財)高知県牧野記念財団

3 平成22年度に実施した主な事業の実績見込み

① 牧野植物園管理運営委託の実施

② 牧野植物園第二期整備事業等の実施

・ 薬用植物等活用促進費補助金の交付

③ 土佐・龍馬であい博連携事業の実施

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
公園施設等災害復旧事業費	5,000	5,000	5,000		(債) 5,000	
<p>1 目的及び内容 自然公園区域内の施設が降雨、暴風、洪水、津波その他異常な自然現象によって被災または破損した場合に、当該施設を原型に復旧する。</p> <p>2 平成22年度に実施した主な事業の実績見込み 対象となった災害なし</p>						

事業名	平成22年度	平成22年度	平成23年度	左の財源内訳		
	当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
自然保護基金管理費 (特別会計)	1,120	1,120	1,122		(使) 26 (財) 345 (越) 751	
<p>1 目的 高知県自然保護基金条例及び高知県自然保護基金管理規則に基づき、県内の自然環境に優れた土地を取得し、自然保護を推進する。</p> <p>2 内容 ・県が取得した土地の維持管理の実施。</p> <p>3 平成22年度に実施した主な事業の実績見込み ・県有地内で、管理の支障となっている草刈りを実施。</p>						